

未来社会創造事業 探索加速型探索研究

事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

多種・多様なコンポーネントを連携・協調させ、新たなサービスの創生を可能とするサービスプラットフォームの構築

3. 研究開発課題名

シェアード・シティ・プラットフォームの構築

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

竹内 雄一郎（株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 リサーチラボ リサーチャー）

5. 評価結果

実世界における公共空間の設計・変更のアイデアに対する調停や合意形成を情報科学技術によって実現するプラットフォームを構築し、市民の手による街づくりを目指すというコンセプトは意欲的かつ独創的である。

本格研究に向けて、ボトムアップ的に都市を設計するというコンセプトを普及させるために、コンペの開催をはじめとする関係者やコミュニティづくりのための活動を積極的に行ってきたことは評価された。

一方で、調停や合意形成の手法に対してクリアすべき技術的課題や POC として何が実証されるべきかが十分に明確になっていなかった。

以上の結果、本研究開発課題は探索研究で終了となったが、研究開発は着実に進捗しており、今後の進展についても期待が持たれる。

以上